

重点課題に基づくプロジェクト 一覧

資料3-2
 科学技術イノベーション政策における
 「政策のための科学」アドバイザー委員会
 (第5回) H28.12.19

重点課題	重点取組分野	S/拠/公	プロジェクト名	実施期間	PL/PI	参画機関	目的	目標
重点課題A-① 政策のイノベーション評価	政策の経済的影響の分析に関する手法・指標の開発	S	経済社会的効果測定指標の開発	H28.4～H31.3	黒田昌裕 (政策研究大学院大学客員教授、慶應義塾大学名誉教授)	CRDS NISTEP	科学技術イノベーション政策が解決すべき課題について、有効かつ実行可能な政策オプションを作成し、その社会・経済的イノベーションを評価	・科学技術イノベーション政策がもたらす社会的・経済的影響を定量的に評価するための新たな方法やシミュレーション・モデルの開発 ・科学技術イノベーションの総合的な評価に資するプラットフォームの構築を通じ、政策のPDCAを確立する政策マネジメントシステムの構築を支援 ・研究者(自然科学者ならびに社会科学者)と政策担当者等の対話の場(推進フォーラム)の構築
重点課題A-② 政策マネジメントシステム	政策のPDCAの確立のための指標・手法開発	S	政策のモニタリングと改善のための指標開発	H28.4～H29.3	有本建男 (政策研究大学院大学教授)		エビデンスに基づいて、科学技術イノベーション政策のマネジメントシステムの改善を目指す	科学技術イノベーション政策の体系的整理とエビデンスに基づいた評価指標・手法の開発
		S	科学技術イノベーションと社会に関する測定(サブプロジェクト)	H28.4～H31.3	同上	NISTEP JST科コミセン 内閣府	科学技術イノベーション政策の推進基盤としての「科学技術イノベーション文化」や「科学技術イノベーションと社会の関係」をエビデンスに基づき理解することで、適切な関係構築のための制度の実現を目指す	・科学技術イノベーションと社会の関係性を適切に把握する国際比較可能な指標の開発及び基盤整備 ・「科学技術と社会」の適切な関係構築に資する制度、政策のモニタリング及び評価手法の開発
重点課題A-③ パブリックセクターにおけるイノベーションシステム	パブリックセクターの機能強化のための制度設計	S	イノベーションシステムを推進する公的研究機関の制度的課題の特定と改善	H28.4～H31.3	同上	内閣府 大学改革支援・学位授与機構	我が国の大学・公的研究機関の機能強化に向けた制度設計及び経営支援に資する指標を開発する	・科学技術イノベーションを推進する主体の一つである大学や公的研究機関のマネジメントの改善に資する「マネジメントスコアボード」の構築 ・資金提供者(Principal)と研究者(Agent)の間に存在する大学や公的研究機関という制度要因についてのデータ集積と分析 ・我が国の大学・公的研究機関の研究マネジメントについて、実際のデータと実務者の視点を踏まえた、改善にむけた提案
重点課題A-④ 国家的課題への迅速・戦略的な対応	国家的課題に対応した政策シナリオ等の作成手法の開発	S	国家的課題に対応した戦略的政策シナリオ及びその作成手法の開発	H28.4～H31.3	角南篤 (政策研究大学院大学副学長・教授)	内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、外務省、JST他。	科学技術イノベーション政策において緊急性が高い課題について集中的に検討を行い、政策シナリオや政策オプションの骨格をデザイン	国家的な課題として潜在的な政策ニーズが存在し、かつ複数の府省にまたがりつつも、比較的短期での対応が求められる課題に戦略的に対応。 以下の3つのサブプロジェクトを検討する。 ①科学技術イノベーション政策における司令塔機能の強化 ②公的研究開発プロジェクトの成果の社会展開と規制・制度改革 ③データインテグリティとイノベーション
重点課題A-⑤ 政策形成プロセスの改善	共創的な政策形成プロセスの構築に向けた手法開発	S	医療情報の共有に向けた政策形成過程の研究	H28.4～H31.3	森田朗 (政策研究大学院大学客員教授、社会保障人口問題研究所所長)	京大	医療情報の共有にかかわる政策のデザインの在り方、その社会的影響、及び、考えられる障害を乗り越えるための場の設定や、方法論の提示を目指す	厚労省、経産省、総務省、内閣官房等の関連官庁に対し、(1)医療情報の共有に関する政策的な選択肢に含まれるべき視点や内容、その社会的影響を提示する。(2)政策を実施するうえで発生しうる障害を提示し、それを除去する方法論を検討する場を設定する。
		S	責任ある研究イノベーションに向けた政策形成の「対話型」技法とシステムの研究	H28.4～H29.9	同上	阪大	科学技術イノベーション政策(計画、事業、規制等)の形成過程における関係者、国民等を巻き込んだ「対話型」技法とシステムを提案すると同時に、責任ある研究イノベーション(RRI)の実態把握を試みる。	これまでの「対話型」技法に関する既往論文・報告等の収集・比較検討しメタレビューを作成する。また、RRIをめぐる言説調査、ワークショップなどを通して日本国内におけるRRIの現状調査しまとめ、ワーキングペーパーとして取りまとめる。また、RRI-Practiceへも非公式で参加する。
重点課題B-① 超スマート社会とSTI政策	先端技術の研究開発実施と社会実装に向けた制度設計	拠	新しい科学技術の社会的課題検討のための政策立案支援システムの構築	(H28年度は企画調査期間と位置付け、年度後半にH29年以降の実施の方向性について決定する。)	平川秀幸 (阪大)	阪大、京大、九大、東大	超スマート社会に係る新しい科学技術に関して、研究開発や社会実装に伴う社会的課題が関連施策の立案において的確に検討・反映されるよう支援することで、社会的により望ましい研究開発や関連制度等の実現を目指す	超スマート社会実現に向けた新しい科学技術に係る社会的課題について、課題の種類、フェーズ、過去事例等を整理し、政策立案段階で適切に検討・反映させるための支援を行う政策立案支援システムの構築の方策の検討。
重点課題B-② 少子高齢化社会とSTI政策	少子高齢化社会に向けた医療・健康ビッグデータの利活用手法の開発	拠	自治体の持つ行政健康資料の可視化とその利用に向けた基盤構築	H28.4～H31.3	川上浩司 (京大)	京大、GRIPS、東大、阪大	行政健康資料を研究可能な形で可視化し、学術、産業、政策において有効に活用し、新たな付加価値を与える	学校健診情報、母子保健情報を可視化し、学術、産業、政策において有効に活用するため基盤を、ELSIに配慮した形で構築する
重点課題B-③ 地方創生とSTI政策	地域イノベーション政策の政策形成立案支援ツール手法の開発	拠	地域イノベーションに資する事例研究と科学技術政策支援システムの開発	H28.4～H31.3	永田晃也 (九大)	九大、一橋	なお目指すべき目標の達成に至っていないとの評価がなされている地域科学技術政策の改善に寄与する	地域科学技術政策について蓄積されている有用な経験的知見を地域間で相互学習するためのシステムと研修プログラムの提供により、各地域における課題解決に資する
重点課題B-④ オープンイノベーション政策と産学連携	大学・研究機関における産学連携の役割等に関する制度設計	拠	イノベーション創出に向けた産学官連携：知識マネジメントと制度設計	(H28年度は企画調査期間と位置付け、年度後半にH29年以降の実施の方向性について決定する。)	城山英明 (東大)	東大、阪大、京大、九大、GRIPS	研究成果のオープン化、利益相反等に関して、研究活動の信頼性を維持する大学の制度環境を整えることで、研究者が産学官連携を通じたイノベーションの創出に向けて新たな取組を行うことを可能にする	オープンサイエンスや利益相反マネジメント等に向けた大学の組織体制や制度、公共政策や規制の設計等に関し、生じる様々な可能性と課題を検討し、データ・ケース集の構築とともに、ガイドラインの提案を行う